



おれんじニュース

No.428

2026年1月

CONTENTS

揮毫	2
年頭挨拶	3
月例山行案内	4
お知らせ	5
定期トレーニング	6
不動岩	7
渡神岳	8
作礼山	9
おれんじカレンダー	10

夜明け(御館山から雲仙方面)

2026年	1月	2月	時間	場所
専門部会	24(土)	28(土)	13:30~14:30	西諫早公民館
全体集会			14:30~16:00	

吉祥

謹んで新春の

お慶びを申し上げます

令和八年 元旦





新年あけましておめでとうございます。旧年中は皆様の多大なるご支援ご協力に心から感謝申し上げます。

昨年は仲間と共に多くの山行に参加して素晴らしい感動と景色を分かち合えました。しかし、2月には不幸にも当会初めて登山中に会員の死亡事故が発生しました。

これを教訓にして、安全登山をこころがけて1年間無事故無災害で過ごせるよう祈念します。

さて、当会の現状は会員の高齢化とマンネリ化により組織の弱体化が進み、会の存続が危ぶまれる転換期になっています。全国的に見ても同様に会の運営が立ちいかなくなり、やむなく解散になった事例が増加しています。

会員の皆さん登山を始めるきっかけは？

体力の維持と健康を保つ、美しい景色に感動したり、困難な山頂の達成感、苦難を共にした登山仲間との一体感等があると思いますが、年齢を重ねるごとに体力、意欲の低下は否めないものがあります。このことは時代の趨勢で仕方のない事です。

しかしながら当会の先人、諸先輩が45年間活動し維持してきた歴史を終わらせることは出来ません。今後も50年、60年と会を存続して行き後輩に引き継ぐのが我々の務めと考えています。

その為には会のスローガンである「来るものを拒まず、去る者を追わず、生涯登山を目指す」の精神を失わず、今一度会員は初心に帰り、基本を忠実に守り、意欲と夢をもって登山に臨んでもらいたいと思います。また若年層会員を増やし、個性の尊重、独創的で魅力ある組織作りを進めていく必要があると思います。

最後に会員の皆様の今後の健康で充実した1年間を過ごせますように祈りまして会長の挨拶といたします。

会長 工藤 学



月例山行案内

1月

★下記は変更になる場合があるので最終的に配布される計画書で確認願います。

部	自然・山行部	技研部	ひまわり部
月/日(曜)	1/11(日)	1/18(日)	1/30(金)
山名(行事)	多良山系七座縦走	普賢岳(雲仙)	鎌倉山・普賢岳
地 図	多良岳	雲仙、島原	大 村(多良見町)
集合場所	緑地公園 8:00	西諫早駅 7:00	緑地公園 9:00
難 易 度	技術 1.5 / 体力 1.5	技術 1.5 / 体力 1.5	技術 1 / 体力 1
帰着時間	16:00	17:00	15:00
歩行時間	5.5h	7.0h	3.0h
交通手段	マイカー	マイカー	マイカー
宿泊施設	なし	なし	なし
温 泉	なし	(全員が希望なら)	なし
参加費	1,000 円	1,000 円	800 円
申込期限	1/4	1/8	1/27
集 約	工 藤	本 多	田 中
備 考	2026年の新年登山です。 西岳、国見岳、多良岳、 前岳、黒木岳、一ノ宮岳、 帆柱岳	雪山訓練(初歩) 池の原登山口から	多良見の里山歩き。

2月

★下記は変更になる場合があるので最終的に配布される計画書で確認願います。

部	自然・山行部	技研部	ひまわり部
月/日(曜)	2/8(日)	2/22(日)～2/23(月)	2/27(金)
山名(行事)	難所ヶ滝・三郡山周回	深入山・恐羅漢山	八天岳
地 図	太宰府	深入山・恐羅漢山	諫早南部
集合場所	西諫早駅 7:00	西諫早駅 7:00	緑地公園 9:00
難 易 度	技術 2 / 体力 2	技術 2 / 体力 2	技術 I / 体力 1
帰着時間	18:30	諫 早 20:00	14:00
歩行時間	5.5h	22日 2.0h、23日 4.0h	3.0h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー
宿泊施設	なし	いこいの村広島	なし
温 泉	なし	あり	なし
参加費	5,000 円	25,000～30,000 円	800 円
申込期限	2/1	12/31	2/24
集 約	工 藤	本 多	田 中
備 考	難所ヶ滝の氷瀑を見て、 九州自然歩道へ出て三郡 山から頭巾山コースを下 り周回する。	雪山の厳しさを体感す る。	土師野尾ダムから八天岳 まで歩く。

事務局より

県連評議委員会

2025/11/29(土) 2025年度 第60期評議委員会報告

先送りになっていた二つの重要課題があり、2026年度総会で結論を出す必要があります。

1. 理事長、登山学校委員会委員長、女性委員会委員長が空席
(1) 委員を出していない会もあり、県連としては片肺飛行しているような状態。
(2) 理事会と各専門委員会の連携はどうあるべきなのか。また必要なのか。
2. 2027/10 県連創立 60 周年について
(1) 記念祝賀会、講演会、記念山行、記念誌が考えられる。
(2) 記念誌については期間と費用で最も課題があり、作成に賛否両論あり。



納山会の開催

12月12日(土) 諫早市本野町の富川溪谷にて納山会を実施しました。

当日は納山登山として、健脚班 5 名で大雄寺から高峰展望台までの往復 2 時間、ゆっくり班は富川溪谷の散策を約 2 時間実施後、鍋会を 12 時 30 分より初め 3 種類の鍋とデザート、アルコールも入り 1 年間の締めと会員のコミュニケーションをはかり、2 時間の有意義な時間を過ごしました。なお、テント泊班も 6 名で、次年度の目標と山行希望等を 22 時まで語り合い親睦を深めました。



年の初めは、めでたい変面ショーで！

初めて間近に見た「中国四川の伝統芸能・変面」。一瞬で表情が変わる面の数々に思わず息を飲む。喜び・怒り・驚きが次々と現れ扇子やマントがひらめく度に、まるで魔法のようです。めでたい席でも披露される縁起の良い芸でもあり、その華やかさと秘技ゆえの不思議さに、ますます心を奪われる。仕掛けは全く見破れず、だからこそワクワクし、感動の舞台でした。



定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

開催日	場 所	参加者数	訓練概要
12月6日	土師野尾ダムサイト	12名	ザイルの各種結び方、懸垂下降、登攀、ザイル担架他



懸垂下降



ロープ担架制作



ユマール使用の登攀



スパニッシュボーラインノット

* ランチは鮭が入った豆乳鍋とおでん鍋で、今年のコンパニオンレスキューの納会を行いました。
Iさん、Sさんにお世話いただきました。

火曜登山

開催日	場 所	参加者数	概 要、行 程
12月2日	黒木岳・前岳・多良岳	6	多良岳から金泉寺へ
12月9日	高峰展望台	5	富川溪谷～大山神社分岐～高峰展望台
12月16日	諫早金毘羅岳	4	墓場登山口～金毘羅岳～車道～墓場登山口

水曜登山

開催日	場 所	参加者数	概 要、行 程
11月26日	岩屋山	8	十郎岳～岩屋山～総合運動公園
12月3日	金比羅山・天狗岳	9	金比羅山一回り
12月10日	鳥甲岳	7	河川砂防公園P～鳥甲岳往復
12月17日	雨のため中止		

緑の地平線歩き

開催日	場 所	参加者数	概 要、行 程
11月13日	雨のため中止		
11月20日	諏訪の池一周	4	紅葉を探してゆっくり歩く
11月27日	飯盛じゃがロード	3	道の駅から海を見下ろす丘を歩く
12月4日	岳ノ木場公園	5	紅葉の穴場を散策
12月11日	上山	3	北口駐車場から展望台へ

2025. 10. 19(日) 不動岩・蒲生山 (389m)

参加者: 工藤、高田、今坂、山下ち、鎗水、本多、松岡、
堺、福岡、久保、西、円能寺、吉崎、白石、清水



前不動岩



行程 西諫早駅 7:30—金立 SA 8:30/8:40—菊水 IC 9:30
—山鹿 BC 前 9:46→大願寺奥之院 P 10:00/10:15—金比羅神社
10:26—不動岩登山口 10:50～T分岐 11:00～中不動岩 11:07
～T分岐～へゲ岩 11:25～三方分岐 11:50～蒲生山 11:55
～後不動岩 12:05/昼食/下山 12:40～蒲生山 12:45～三方分岐
～へゲ岩 13:00～T分岐～不動岩展望台 13:20～金比羅神社 13:28
～大願寺奥之院 P 着 13:37/13:45—山鹿 BC 前 14:10—菊水道の駅
14:40—菊 IC 14:5—広川 SA 15:20—多久西 SA 16:12—西諫早駅 17:05

概要

大願寺奥之院前を出発、苔むした参道の石段を登り上がると金比羅神社の入口に着く。自然林に囲まれた谷間の静粛した場所に五つの神様が祀られている。

参拝を済ませジグザグ坂の登山道を進むと視界が開け、目の前に垂直にそびえ立つ大岩が現れた。高さ80m、胴回り100mの「前不動岩」である。その裾には不動明王拝殿がある。その先には駐車場、展望所、あずま屋がある。

手前の登山口から急登の木段を上ると中不動岩と蒲生山の分岐に着く。そこを左に狭い岩礁道を滑りに注意しながら進むと中不動の頂上に着く。周りは断崖絶壁で怖い。眺めは前方に前不動岩、後方に後不動岩が間近に聳え立つ。山鹿市街や田園地帯そして遠方には金峰山、雲仙、阿蘇の山並みが一望でき、絶景の大パノラマが広がっている。

分岐まで戻り、蒲生山、後不動岩に向かう。急登な登山道は落ち葉と小石混じりで滑りやすく登りづらい。木段を登り上がりT分岐を左に行くと三角点のある蒲生山に着く。山頂は木立に阻まれて景色はない。通り抜けて稜線の狭い岩礁斜面を進み、後不動岩に着く。展望が開けた所で昼食を摂る。この場所から少し下った所に巨岩の山頂が平坦になっている岩峰に行く。

ここからの展望も素晴らしく山鹿市街や奥深い溪谷の風景に感動する。下山は往路と同じ道を下り、登山口の展望所で休憩を取った後、出発地点の大願寺奥之院に到着。

一言感想:

※初めて参加して不動岩からの景色が素晴らしく楽しい一日でした。

※先週の祖母山、今回の不動岩、入会して山行が出来楽しい時間を仲間と過ごす事が出来ました。これからも参加したいと思います。

※和気あいあいと楽しい山行でした。

※景観抜群、今度は妻と一緒に訪れたい。



後不動岩山頂



蒲生山山頂

2025/11/2(日) 渡神岳 (1150.2m)

(ヒラキ坊主・赤石山・ハゼバル山)



行程：西諫早駅 6:30-日田 IC-奥日田林道記念碑 9:20-登山開始 9:40
～ヒラキ坊主～赤石山～渡神岳山頂
・昼食 12:00/12:50～石建山尾根～ハゼバル山稜線 14:49～赤石山～渡神岳登山口 16:08-日田 IC-西諫早駅 19:20



概要：

渡神岳の山容は円錐形をなし、山頂までは4つのピーク(ヒラキ坊主、赤石山、ハゼバル山、渡神岳)を踏む。

ミズナラの実をプチプチと踏みながら、ザラ土の急坂斜面で慎重に登って行くとシオジ原生林、ブナ林が出て来て辺りが明るくなり、黄葉には早かったが美しい森を心地よく歩く。スズタケ林の急登をかき分けたり、長く続く鎖に頼ったりと変化のある登山道だ。

渡神岳山頂では雨乞いの祠にお参りし、昼食を摂り、いざ！地図にはない破線道をハゼバル山へ！

下りは面白い激下りの石建山尾根を少し遠回りしたが、ハゼバル山稜線へ出て赤石山を再度踏み、渡神岳登山口へ無事到着した。※山アプリ軌跡にはハゼバル山も登頂したようになっていた。



感想：❀渡神岳はヒラキ坊主への急登、シオジ林のザレ場斜面、山頂直下の鎖場急登があったが緩やかな登山道もあり変化に富み、楽しく歩いた。

❀下山はハゼバル山コースの破線ルートを選んだが尾根は藪っっていて、ルートを一時外したが貴重な経験で今後の登山技術に生かしたい。

❀黄葉前の苔のシオジ原生林、ブナ林は美しく、石建山稜線も岩場の激下りでアスレチックだった。

❀山は急登や鎖があり登り甲斐があった。道迷いは勉強になった。

参加者：川野 堺 陣川 福岡 福田 本多 鎗水 吉川

11/28(金) 作礼山

行程 緑地公園 7:30 一作礼山 9 合目 P 9:15~一ノ岳 9:40~気功岳 10:05~二ノ岳 10:50~三ノ岳 11:30~人生の並木道 11:50(昼食 30分)~作礼山頂上 14:20~駐車場 14:50~緑地公園 16:30

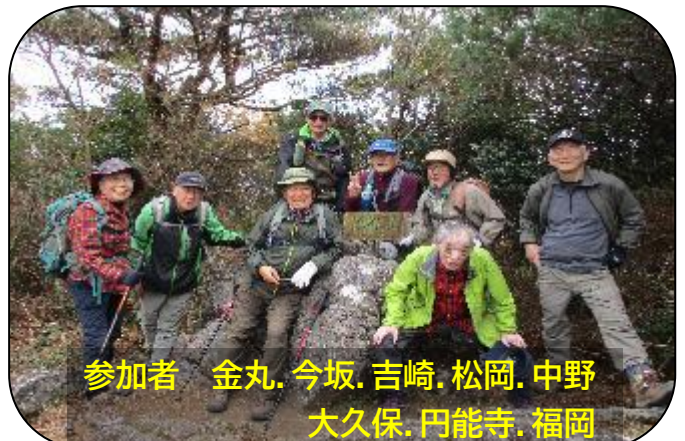


概要 ひまわり部としては珍しい遠出山行。いつもより早い時間に出発、晩秋の奥作礼山を周回するコース。目的は「人生の並木道」。スタートから急登だったので肌寒かった体も温もり順調に登り、気功岳で天山などの山々のパノラマを満喫。その後二ノ岳、三ノ岳と紅葉の絨毯を気持ちよく歩き「人生の並木道」へ到着。枝打ちされた桧が整然と並んでいて見事。M氏が「人生の並木道」の曲をスマホで流し雰囲気盛り上げる。「人生の曲がり角」を曲がり、何度か渡渉箇所あるが足取り軽く、最後の急騰(昴坂)も難なく登り切り予定よりも早くゴール。しかし皆さん余力あり、折角だから作礼山まで登ろうとの声で足を延ばす。頂上で記念撮影し、達成感更にアップ。ヨカッタ、ヨカッタ、たまには遠出もいいね



一言感想

- *ちょっとヒヤヒヤしながら参加しましたが、急な登り下りもぶじ通過。その上念願の「人生の並木道」を歩き満足、満足。変化の多い山道がとても楽しかったです。
- *今日の作礼山は、ちょっと計画が遅くなって紅葉は終わり間際でしたが、足下に色とりどりの落ち葉の絨毯が十分晩秋の余韻を味あわせてくれました。素晴らしい一日を過ごすことが出来ました。



おれんじカレンダー

1月			2月		
1	木	元日	1	日	
2	金		2	月	
3	土		3	火	火曜登山（自主）
4	日		4	水	水曜登山（自主）
5	月		5	木	緑の地平線歩き（自主）
6	火		6	金	
7	水		7	土	コンパニオンレスキュー
8	木		8	日	難所ヶ滝・三郡山周回（自然.山行部）
9	金		9	月	
10	土	コンパニオンレスキュー	10	火	火曜登山（自主）
11	日	多良山系七座縦走（自然.山行部）	11	水	水曜登山（自主）
12	月		12	木	緑の地平線歩き（自主）
13	火	火曜登山（自主）	13	金	
14	水	水曜登山（自主）	14	土	
15	木	緑の地平線歩き（自主）	15	日	
16	金		16	月	
17	土		17	火	火曜登山（自主）
18	日	普賢岳(雲仙) 雪山訓練（技研部）	18	水	水曜登山（自主）
19	月		19	木	緑の地平線歩き（自主）
20	火	火曜登山（自主）	20	金	
21	水	水曜登山（自主）	21	土	
22	木	緑の地平線歩き（自主）	22	日	深入山・恐羅漢山(広島県)(技研部)
23	金		23	月	
24	土	専門部会 全体集会	24	火	火曜登山（自主）
25	日		25	水	水曜登山（自主）
26	月		26	木	緑の地平線歩き（自主）
27	火	火曜登山（自主）	27	金	八天岳（ひまわり部）
28	水	水曜登山（自主）	28	土	専門部会 全体集会
29	木	緑の地平線歩き（自主）			
30	金	鎌倉山：普賢岳（ひまわり部）			
31	土				

川原顧問所掌 ➡ 緑の地平線歩き (9:00)、コンパニオンレスキュー(第1土曜 9:30) 緑地公園集合

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	工藤 学
編集責任者	高田啓子
編集委員	工藤学、福岡正廣、西寿男、中野美津子 陣川光子、福田清人、吉原昌弘、
発行年月日	2025/12/27
郵便振込口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com



オレンジ HC